

学ぶとは、考えるとは。

Handai-Asahi 中之島塾

朝日カルチャーセンターとの共同講座。入会金は不要です。大阪大学の第4キャンパス、大阪大学中之島センターで開講します。知識を吸収しながら問題を発見し考察する力も養います。

●会場／大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）
●定員／各講座により異なります。
随時受付中ですのでお問い合わせください。

●申込先・問合せ先／
朝日カルチャーセンター TEL.06-6222-5224

●大阪弁ほちほち講座

～テレビが作る大阪弁!? 「探偵! ナイトスクープ」プロデューサーを迎えて

金水敏 (大阪大学大学院文学研究科教授)
松本修 (朝日放送プロデューサー)

3月29日(土) 13:30～15:00
受講料 1,575円

永らく朝日放送の人気番組「探偵! ナイトスクープ」制作に携わり、その番組から生まれた著書『全国アホ・バカ分布考—はるかなる言葉の旅路』で学会を騒然とさせた松本修氏は、近著『どんくさいおかんがキレるみたいなの』で、テレビが方言を元にした流行語を作っていく様子を制作者の視点から明らかにしました。その対談では、松本さんご自身から言葉とテレビの熱く怪しい関係をとっくりと伺いたいと思います。

●荒唐無稽な伝承の読み方

～歴史学と民俗学の狭間に

高島幸次 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター招へい教授、大阪天満宮文化研究所研究員)

4月12日(土)、26日(土) 13:30～15:00
受講料 3,240円 (全2回)

一読しただけでは、荒唐無稽な作り話としか思えない古伝承が各地に残っています。「そんなアホな!」と切り捨てたのではなく、その伝承を生み出した古代人の感性や知識に耳を傾けて謙虚に向き合えば、そこには実に豊かな史実が浮かび上がってきます。講座では、『ある日、突然に七本の松が生え、夜な夜な光り輝いた』という、大阪天満宮の「七本松伝承」を読み解くことによって、インド北部から西日本にまで広がる植生分布と、平安時代の宗教空間の持つ意味を明らかにします。これまで等閑にされてきた歴史学と民俗学の狭間を読み解くワクワク感をお楽しみください。

●免疫反応を制御する細胞とは?

～がん、リウマチ、アレルギーの治療と予防に向けて

坂口志文 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授)

4月19日(土) 10:30～12:00
受講料 1,620円

免疫系は、私たちの身体を病原微生物から守りますが、身体を作っている正常な細胞、分子とは反応しません。では、免疫系は、自己と非自己をどのように区別しているのでしょうか。この仕組みが分かれれば、関節リウマチなどの自己免疫病やアレルギーの治療・予防が可能になります。また、自己から発生した癌細胞に対して強い免疫反応を起こすことが可能となり、移植臓器をあたかも自己臓器として受容させることが可能となるでしょう。制御性T細胞は、このような様々な免疫反応の制御に特化したリンパ球です。その医療応用についてお話しします。

●歩き方で犯人を特定!

歩容映像解析の最前線

八木康史 (大阪大学産業科学研究所教授)

4月19日(土) 14:30～16:00
受講料 1,620円

人の歩き方に着目した歩容認証は、顔がはっきりとは映らない、数十メートル・数百メートル離れた場所を歩く人の映像からでも個人認証が可能なバイオメトリクス(生体情報)技術として注目を集めています。2009年、大阪大学で開発したこの技術は、日本警察史上初となる(世界で2例目)科学捜査利用が行われ、犯人逮捕に貢献しました。この講座では、歩容特徴とはどのようなものか、歩容からどのようなことがわかるのか、また、その最先端研究と未来応用について紹介します。

●最新アンチエイジング研究

～高血圧・骨粗鬆症との関連

志水秀郎 (大阪大学大学院医学系研究科准教授)

5月24日(土) 10:30～12:00
受講料 1,620円

高齢化社会においてはさまざまな疾患が複雑に絡みあって病態が多様化しており、病因背景を共有したり病態が相互に影響をおよぼしあっている場合も少なくありません。骨粗鬆症と心血管疾患においては、血圧が高いほど骨密度が減少して骨折頻度が上昇することが報告され、一方で骨粗鬆症の進展に伴って血管の石灰化が重症化することが指摘されてきています。講座では高血圧と骨粗鬆症に共通する基盤背景を解析して、アンチエイジングの観点から人にも財政にも優しい包括的医療について解説したいと考えます。

●日本の社会を埋め尽くすカエル男の末路

～サラリーマン夫婦の幸せへの幻想とは?

深尾葉子 (大阪大学大学院経済学研究科准教授)

5月24日(土) 14:00～15:30
受講料 1,620円

前著、『日本の男を喰い尽くすタガメ女の正体』は、過激な装丁とタイトルから、専門主婦批判ではとの反響が多数寄せられました。それから半年、『日本の社会を埋め尽くすカエル男の末路』を上梓し、サラリーマン企業戦士の呪縛された人生とそれがもたらす社会の硬直化に関する議論を展開。今度は「そこまで言わなくても」「私もやっぱり?」という悲痛な声が寄せられることに。今回の講座では、戦後日本社会が突き進んできた「標準サラリーマン」と「専業主婦」による高度経済成長モデルがひきおこす制度疲労の正体にメスを入れ、豊かで柔軟な生き方を実現するにはどうすればよいかが、皆さんとともに考えます。

ネットからの申込みも可。
Handai-Asahi 中之島塾 検索

●おもしろ日本語学

～国語辞典の世界

小矢野哲夫 (大阪大学大学院言語文化研究科教授)

6月6日(金) 13:30～15:00
受講料 1,620円

語が国語辞典に登録され、意味や用法などを記述されるありさまを観察します。小型の国語辞典ではいたいた6年から10年のサイクルで改訂作業が行われています。使われなくなった言葉が消え、新しく発生して広く使われるようになった言葉が登録されます。また、既存のことばでも、意味が変化したり付け加わったりすると、それが記述されます。言葉が生きているのと同じように、それを写す国語辞典も生きています。『三省堂国語辞典』を例にして国語辞典の世界を覗いてみましょう。

●知っておきたい心筋梗塞の症状と予防法

南野哲男 (大阪大学大学院医学系研究科講師)

6月7日(土) 13:30～15:00
受講料 1,620円

心筋梗塞は時には命を奪うこともあり、一刻も早い治療が必要です。どのような症状が出たときに、心筋梗塞を疑うべきなのでしょう。多くの患者では冷汗を伴うような強い胸痛が出現します。しかし、高齢者や糖尿病患者の中には心筋梗塞が起こっても胸痛の出ない人もいるため、治療開始が遅れることがあります。また、心筋梗塞は生活習慣の改善で減らすことができます。健診などにより、自分のリスクを把握して適切に対応することが大事です。講座では、心筋梗塞の症状と予防法を中心に勉強し、大切な命を守る方法をお伝えします。

●古代語の謎を解く

蜂矢真郷 (大阪大学名誉教授・中部大学教授)

6月21日(土) 13:30～15:00
受講料 1,620円

日本の古代のことばについて、形や意味を変えたりもしながら現代でも用いられているものを中心に、その語の現代立ちや由来を考えます。あまり根拠のない語源説のようなものではなく、国語学の、語構成を研究する立場から、いろんな語の表すところに迫ります。多くの語を合わせて比べてみると分かってくることもあります。分かりにくいことに迫る時には謎解きのようなおもしろさが、その由来に迫る時にはルーツを探るようなおもしろさがあるでしょう。(取り上げることばは毎回変わります)。

共通テーマで大阪と京都を掘り下げる。

大阪・京都文化講座

2014年度前期

大阪大学大学院文学研究科・大阪大学 21世紀懐徳堂・立命館大学文学部・立命館大阪オフィスの共催講座。大阪・京都の自然・風土・地誌・都市空間について考え、今後の課題・問題点についても提起します。

●会場／立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル 5階) ●定員／各回 130名 (先着順) ●受講料／1回 1,500円 (7回以上一括申込の場合 10,000円) ●申込方法／「申込書」に必要事項を記載の上、E-mail・FAX・郵送、いずれかの方法でお送りください。〒530-0018 大阪市北区小松原町 2-4 大阪富国生命ビル 14階 立命館大阪オフィス FAX.06-6360-4894 osaka-of@stritsumei.ac.jp 受講申込受付後、「受付確認書」「払込取扱票」を送付しますので、受講料を納付(郵便払込)願います。●問合せ先／立命館大阪オフィス TEL.06-6360-4895

「水の都」京都と大阪

- 水辺をめぐる二都物語 -

●近世鴨川の寛文新堤の景観と防災機能

吉越昭久 (立命館大学文学部特任教授)

5月19日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

近世初頭の寛文期に、京都の鴨川に初の本格的な堤防が建設された。堤防は、通常水害を防ぐためのものと考えられてきたが、この寛文新堤建設には、少し特殊な目的もあったと思われる。堤防の景観や史料から、その謎に迫ってみたい。

●人見嘉久彦『琵琶湖疏水 downstream』と戦後新劇

須川渡 (大阪大学大学院文学研究科助教)

5月26日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

劇作家・人見嘉久彦(1927-2012)は、京都を舞台にした数多くの戯曲を創作した。これまで見過ごされてきた市井の人々を描き、「水」はしばしば彼の作品において重要なモチーフとなっている。人見の劇作品をたどることで、戦後の新劇がどのように「水」を描いてきたのか考えたい。

●夏目漱石『虞美人草』と保津川

瀧本和成 (立命館大学文学部教授)

6月16日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

夏目漱石『虞美人草』は、「朝日新聞」入社第一作に当たります。この作品は、冒頭で比叡山、天龍寺、嵐山が写し出されます。なかでも保津川下りの場面は、臨場感あふれる描写となっています。そうした表現に注目して、作品に於ける「場下」の意味を探りたいと思います。

●賀茂川の水」と白河法皇の苦悩

片平博文 (立命館大学文学部教授)

6月2日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

歴史時代を通じて賀茂川の水に悩まされ続けた人物の一人は、間違いない白河法皇である。しかしそれはいつたいなぜなのだろうか?ここでは法皇の心の深層を解解くことによって、秘められた謎に迫りたい。また法皇は、もう一つの大きな悩みを賀茂川によって解決しようとしていたのである。

●大阪、京都の水辺景観と都市の魅力づくり

加賀有津子 (大阪大学大学院工学研究科教授)

6月23日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

大阪や京都は、これまでの歴史の中で、様々な形で都市と水とが深く関わりあひながら発展してきた地域である。また近年は、観光資源としての水辺再生に向けた取組が始められている。現代の大阪や京都の水辺空間のあり様から、都市の魅力づくりについて考える。

●鴨川納涼の空間文化誌

加藤政洋 (立命館大学文学部准教授)

6月30日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

京都の夏の風物詩といえば、鴨川に面した料理屋の「床」で飲食する納涼を挙げる事ができます。現在では「納涼床」とひと口に言われるゆえは、実のところ時代とともにその姿が大きく変えてきたのでした。今回の講座では、さまざまな視覚資料をもちいて、空間文化としての納涼の変遷を追ってみたいと思います。

●琵琶湖疏水の文学史

出原隆俊 (大阪大学大学院文学研究科教授)

7月7日(月) 14:00～15:40
受講料 1,500円

琵琶湖から水が流れる疏水の周辺を舞台にした、あるいはそれを取り込んだ作品は少なくありません。菊池寛の『身投げ救助案』をはじめとして、田宮虎彦、三島由紀夫、与謝野晶子、…。これらを通して小さい文学史を試みます。

●シアーターカフェ「自己紹介の作り方」

3月11日(火) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●トークサロン

3月16日(火) 15:00～17:00

【大阪大学 21世紀懐徳堂ホームページから要申込】
http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/form/cafe4_form/
ディスコという名前がまだ無かった時代の大阪で一番迫力が有り、有名だったゴーゴー・クラブ「アストロメカニクール」。大阪万博前夜の1968年から1980年代まで、大阪の若者の文化シーンを席卷していました。1968年春、東京では浜野安宏氏プロデュースの「MUGEN」が日本のディスコ・ブームをリードしオープン。同年9月には「アストロメカニクール」も浜野氏のプロデュースで向井修二氏が内装デザインを手がけ、オープンしました。カウンター・カルチャー、70年代若者文化のメッカだった大阪で一番有名だったディスコを探り上げ、現代の若者に、大阪万博以降の熱気あふれる「若者文化」の先駆けとなったインテリア・デザインが前衛性を伝えていきます。また、現代アートが

●シアーターカフェ「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

『就活のバカヤロウ』で書評カフェを行なつてから早4年余り。就活は依然として社会問題となつてまです。就活「就活のコノヤロウ」(光文社新書)

●シアーターカフェ「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●シアーターカフェ「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

『就活のバカヤロウ』で書評カフェを行なつてから早4年余り。就活は依然として社会問題となつてまです。就活「就活のコノヤロウ」(光文社新書)

●シアーターカフェ「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●シアーターカフェ「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●シアーターカフェ「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

会社帰りにちょこっと寄り道。

ラボカフェ

参加費無料

哲学、アートサイエンス、防災、医療 etc. 多岐に渡るテーマに基づいて、対話、レクチャー、アートイベントなどのさまざまなプログラムを実施します。

●会場／アートエリア B1 (京阪中之島線なにわ橋駅地下 1F コンコース)
●定員／各回により異なります。(当日先着順・入退場自由)
●問合せ先／大阪大学コミュニケーションデザイン・センター
TEL.06-6850-6632 zenkyo-insoumu@office.osaka-u.ac.jp

●中之島哲学コロシアム「誰のこども?」

3月6日(木) 19:00～21:00

いま、性同一性障害の父子関係に関する裁判、事実婚の増加、同性婚をめぐる議論など、家族の多様性をめぐって揺れています。しかし、嫡出子や女性の離婚および再婚の時期をめぐる問題は以前から存在していました。「こども」の位置を軸に、これまでといまの「家族」のあり方、そしてこれからの可能性について話し合います。定員50名程度。ゲスト/井戸まさえ (元衆議院議員) カフェマスター/本間直樹 (大阪大学 CSCD 教員)、大北全俊 (大阪大学招へい研究員)、菊地建至 (関西大学非常勤講師)、松川絵里 (大阪大学 CSCD 特任研究員) 共催/カフェフィロ

●中之島哲学コロシアム「書評カフェ」

3月12日(水) 19:00～21:00

『就活のバカヤロウ』で書評カフェを行なつてから早4年余り。就活は依然として社会問題となつてまです。就活「就活のコノヤロウ」(光文社新書)

●中之島哲学コロシアム「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●中之島哲学コロシアム「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●中之島哲学コロシアム「就活のコノヤロウ」

3月12日(水) 19:00～21:00

環境が変わり、あらゆる場面で自己紹介をする機会が増える4月。自分のことを紹介するのってなんだか恥ずかしいし難しい…。こんな時、つかみのネタがあったらなあ…。と、悩んでいる人も多いのではないですか。「自己紹介の作り方」では、演劇の手法をつかって、参加者のみなさんと「自己紹介」を作ってみようと思います。新たな自分が発見できるかも!?お気軽にご参加ください。定員 30名程度。ゲスト/ROPEMAN (35) カフェマスター/紙本明子 (大阪大学 CSCD 特任研究員)

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

触覚のこと? 今回の MTM は、これまでのテーマ(「ダンスの技術」「踊りと眼」)で通奏低音になっていた「体性感覚」を扱います。ゲストには、認知運動療法を日本に伝えて「リハビリ」に革命的な変化をもたらしている理学療法士、踊りの接触を人体から家具や建築(空間)に広げて「コタクト」の意味を書き換え続けている振付家をお呼びします。体を動かしながら、ご自身のこの感覚について考えてみましょう。定員 50名程度。ゲスト/坂本公成・森裕子(振付家・ダンサー/Monochrome Circus)、宮本省三(理学療法士/高知医療学院学院長) 司会/富田大介(大阪大学 OSIPP 教員) カフェマスター/西川勝(大阪大学 CSCD 教員) 共催/大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP) 稲盛財団寄附講座

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

触覚のこと? 今回の MTM は、これまでのテーマ(「ダンスの技術」「踊りと眼」)で通奏低音になっていた「体性感覚」を扱います。ゲストには、認知運動療法を日本に伝えて「リハビリ」に革命的な変化をもたらしている理学療法士、踊りの接触を人体から家具や建築(空間)に広げて「コタクト」の意味を書き換え続けている振付家をお呼びします。体を動かしながら、ご自身のこの感覚について考えてみましょう。定員 50名程度。ゲスト/坂本公成・森裕子(振付家・ダンサー/Monochrome Circus)、宮本省三(理学療法士/高知医療学院学院長) 司会/富田大介(大阪大学 OSIPP 教員) カフェマスター/西川勝(大阪大学 CSCD 教員) 共催/大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP) 稲盛財団寄附講座

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

触覚のこと? 今回の MTM は、これまでのテーマ(「ダンスの技術」「踊りと眼」)で通奏低音になっていた「体性感覚」を扱います。ゲストには、認知運動療法を日本に伝えて「リハビリ」に革命的な変化をもたらしている理学療法士、踊りの接触を人体から家具や建築(空間)に広げて「コタクト」の意味を書き換え続けている振付家をお呼びします。体を動かしながら、ご自身のこの感覚について考えてみましょう。定員 50名程度。ゲスト/坂本公成・森裕子(振付家・ダンサー/Monochrome Circus)、宮本省三(理学療法士/高知医療学院学院長) 司会/富田大介(大阪大学 OSIPP 教員) カフェマスター/西川勝(大阪大学 CSCD 教員) 共催/大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP) 稲盛財団寄附講座

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

触覚のこと? 今回の MTM は、これまでのテーマ(「ダンスの技術」「踊りと眼」)で通奏低音になっていた「体性感覚」を扱います。ゲストには、認知運動療法を日本に伝えて「リハビリ」に革命的な変化をもたらしている理学療法士、踊りの接触を人体から家具や建築(空間)に広げて「コタクト」の意味を書き換え続けている振付家をお呼びします。体を動かしながら、ご自身のこの感覚について考えてみましょう。定員 50名程度。ゲスト/坂本公成・森裕子(振付家・ダンサー/Monochrome Circus)、宮本省三(理学療法士/高知医療学院学院長) 司会/富田大介(大阪大学 OSIPP 教員) カフェマスター/西川勝(大阪大学 CSCD 教員) 共催/大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP) 稲盛財団寄附講座

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

触覚のこと? 今回の MTM は、これまでのテーマ(「ダンスの技術」「踊りと眼」)で通奏低音になっていた「体性感覚」を扱います。ゲストには、認知運動療法を日本に伝えて「リハビリ」に革命的な変化をもたらしている理学療法士、踊りの接触を人体から家具や建築(空間)に広げて「コタクト」の意味を書き換え続けている振付家をお呼びします。体を動かしながら、ご自身のこの感覚について考えてみましょう。定員 50名程度。ゲスト/坂本公成・森裕子(振付家・ダンサー/Monochrome Circus)、宮本省三(理学療法士/高知医療学院学院長) 司会/富田大介(大阪大学 OSIPP 教員) カフェマスター/西川勝(大阪大学 CSCD 教員) 共催/大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP) 稲盛財団寄附講座

●OSAKAN CAFÉ Vol.4

「音・記号・光」-アートが街のデザインを変えた- きみはアストロメカニクールを知っていますか? あなたはアストロメカニクールを覚えていますか!

3月11日(火)～16日(日) 12:00～19:00

触覚のこと? 今回の MTM は、これまでのテーマ(「ダンスの技術」「踊りと眼」)で通奏低音になっていた「体性感覚」を扱います。ゲストには、認知運動療法を日本に伝えて「リハビリ」に革命的な変化をもたらしている理学療法士、踊りの接触を人体から家具や